



## とっくり芋赤沼生産部会 通常総会が開催されました。

平成21年10月1日(木)、いわき新舞子ハイツにおいてJAいわき市主催による「とっくり芋赤沼生産部会通常総会」が開催されました。

総会の席上、平成20年度におけるとっくり芋の実績は、出荷量10.7t(対前年度比114%)であったことが報告されました。



また、平成21年度については、12月上旬頃の贈答用を中心に出荷が行われますが、今年の作柄は、降雨量が少なく乾燥の影響が見られるとのことでした。

しかし、10月21日に目揃え会を実施し、出荷品の品質向上を図ったことで、安定した品質を確保することができ、前年度を上回る好成績となる模様です。



JAいわき市とっくり芋赤沼生産部会では、毎年土壌分析を実施するとともに、部会員全員がエコファーマーを取得するなど環境と共生する農業を実践しており、いわき農林事務所農業改良普及員による共同巡回や施肥設計を行って、栽培技術の高位平準化を支援しています。



## 森林組合連合会良質材展示会 が開催されました。

平成21年10月19日(月)、いわき木材流通センターで「第12回福島県森林組合連合会良質材展示会」が開催されました。

この展示会は、生産技術の改善向上と商品価

値を高め、福島県産材の優秀性を広く紹介すると共に、木材需給の安定を図ることを目的として開催されています。

開会式では、同連合会代表理事会長のあいさつに続き、来賓を代表して福島県農林水産部長(代理)が祝辞を述べました。

同展示会には、林野庁長官賞に輝いた磐城造林株式会社出品のスギや、福島県知事賞に輝いた田村市の石嶋商事出品のスギのほか、良質材合わせて約2,200m<sup>3</sup>が入荷し、入札には県内外から多数の買方の参加を得て販売が行われました。

この展示会の開催により、良質な福島県産の木材が広く紹介されるとともに、さらなる需要の拡大が期待されます。

林野庁長官賞受賞  
出品者：磐城造林株式会社

樹種：スギ  
長級：5m  
径級：42～46cm  
本数：3本  
材積：2.908m<sup>3</sup>



## 農業農村整備事業視察研修が 開催されました。

平成21年10月22日(木)、23日(金)、岩手県一関市及び奥州市の2箇所において、福島県土地改良事業団体連合会いわき支部主催の農業農村整備事業視察研修が開催されました。

この研修は、他機関の農村農業整備事業の先進的な取り組み事例をつぶさに研修し、管内土地改良区の円滑な運営や事業への取り組みを促進することを目的に実施されています。

最初に、一関市の「水土里ネットてるい(照井土地改良区)」では、96%の高い集団化率と、担い手農家への集積率58.2%の達成に至る経過等を研修し、優良事例として



平成15年度大臣表彰を受賞した状況を視察しました。

次に、奥州市の「農事組合法人いさわ産直センターあじさい」では、農家の女性を中心となって、プレハブ利用の農産物販売からスタートし、加工施設や食堂運営、学校給食や旅館への食材提供など様々な取組を実現し、地場農産物の販売額向上や高付加価値化などを進めた農産物直売所の事例研修を行いました。この直売所は、農村女性の就労と生きがいの場を創出し、所得向上を図った優良事例として、平成19年度全国地産地消優良活動表彰の農林水産省経営局長賞を受賞しています。

現在、この直売所は法人化され、新社屋兼店舗を所有する他、販売額は1億円に達しているとのことであり、地域の農村女性の力強さと積極的な活動展開が図られています。

今後これらの研修を通じて、いわき地方の農地集積の促進や、農産物直売所の活動支援の一助となることが期待されます。

## いわき市米粉普及推進会議が 開催されました。

平成21年10月23日（金）、JAいわき市本店で米粉の普及と消費拡大を目的とした「いわき市米粉普及推進会議」が発足し、第1回推進会議が開催され、今年度の普及推進計画について協議が行われました。

推進会議では、JAいわき市が中心となり、製麺・製パン業者、直売所、消費者、市及び県などの関係者が出席し、今年度の事業として米粉商品の試作発表会、先進地視察研修、米粉商品の試食会等を行うことなどが決定されました。

また、米粉を活用した商品やメニューが消費者に受け入れられるよう、地元の米を製粉し、加工、販売、消費される地産地消の流通ルートについて、モデル構築を図っていくこととしました。

会議終了後には、推進会議のリーダーに選出された鈴木友明さんの鈴木製麺(株)が試作した米粉3割入りのラーメンや、米粉を5割使用したパウンドケーキとシフォンケーキを試食しました。出席者からは米粉の食味や食感の良さなど、新たな食材として、米粉利用の可能性と課題について意見交換が行われました。今後は推進会議の活動により米粉の消費拡大など普及推進が図られることが大いに期待されます。

## 「ふるさと誘致と連携した地域 産品づくり事業」大豆の収穫 を開催

平成21年10月24日（土）、いわき市田人町貝泊地内で、いわき農林事務所といわき地方振興局主催による「ふるさと誘致と連携した地域産品づくり事業」の大豆の収穫を行いました。

この事業は、地元地域づくり団体「貝泊コイコイ倶楽部」との連携により、遊休農地を活用した大豆の栽培・加工を通じて、地域間の交流や農産物加工技術の伝承による地域産品づくりを行うものです。



大豆の栽培・加工を通じて、地域間の交流や農産物加工技術の伝承による地域産品づくりを行うものです。



この事業では、全3回の活動があり、今回は第2回目として、一般応募20名、地元農業者10名、貝泊小・中学生及び保護者18名

などスタッフを含め総勢54名で、実った大豆の株約10,000株を抜き取り、株の根本を束ねて、乾燥のためのはせ木に掛ける作業を行いました。



作業終了後の昼食では、コイコイ倶楽部から今年試作した豆腐3種類のほか、地元産の米「ふくみらい」を使ったおにぎり、ナメコ汁、漬け物などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちながら、収穫の喜びを味わうとともに作業の心地よい疲れを癒していました。

また、参加者からは「久しぶりにいい汗をかくことができた」、「大きな株と大量の莢(さや)を見て嬉しくなった」、「自然の中での収穫体験は楽しかった」などの声が聞かれました。

次回は1月に最後の活動となる豆腐・味噌の加工作業を予定しており、地域間の交流促進や



地域産品づくりによる地域の活性化が期待されます。



## 県優良木材展示会が開催されました。

平成21年10月30日(金)、株式会社平木材市場で、福島県木材協同組合連合会、平木材市場の共催による「第48回福島県優良木材展示会」が開催されました。この展示会は、福島県産材の優秀性を広く紹介するとともに、木材の需要拡大や木材業界の一層の結束と協調を図ることを目的として毎年秋の需要期に開催されており、福島県産材のPR並びに利用促進にも大いに役立てられています。

展示会で行われた記念市には、スギ、ヒノキ、ケヤキ等の素材2,600m<sup>3</sup>、製品1,000m<sup>3</sup>

が入荷しました。なかでもヒノキ材の需要は高く、活気に満ちた競り売りにより、今後の相場動向に期待が寄せられました。

開会式には、木材関係者など約120名が出席し、来賓を代表して福島県農林水産部長(代理)が、優良な木材の安定供給と需要拡大に大きな貢献をされていることに対して謝意を述べました。

この展示会の開催により、福島県産木材の需要が高まることが期待されます。



1本100万円の値をつけたサクラ(写真左)

## いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ 平成21年度ステップアップ講座経営セミナー(全5回)  
期日:11月26日(木)、12月4日(金)、11日(金)、15日(火) 13:30~16:00  
会場:第2回~4回いわきグリーンプラザいわき 第5回県いわき合同庁舎
- ◎ いわき地方有機農産物生産者交流会  
期日:11月27日(金) 14:00~16:00  
会場:県いわき合同庁舎 3階会議室
- ◎ 水源地域の森林整備体験と農業施設の見学交流会  
期日:11月28日(土) 8:30~16:40  
会場:川前町、四倉町
- ◎ 田んぼの学校(収穫祭、発表会)  
期日:11月28日(土) 9:30~14:00  
会場:夏井小学校
- ◎ いわき地域6次産業化推進のための懇談会  
期日:12月3日(木) 13:00~15:30  
会場:県いわき合同庁舎4階大会議室
- ◎ 農業高校等連携事業(農業生産現場・施設等視察研修)  
期日:12月7日(月) 9:00~16:00  
会場:いわき市中央卸売市場等
- ◎ 米飯給食モニター校実践事業(第2回目)  
期日:12月8日(火) 11:00~12:40  
会場:いわき市立川部小学校
- ◎ 集落営農ミュージカル 入場無料(要整理券)  
期日:12月10日(木) 開場13:30 開演14:00  
会場:いわき芸術文化交流館アリオス

☆ 平成21年11月18日福島県インフルエンザ対策本部からインフルエンザ流行警報が発令されました。

手洗い、うがいなどにより予防を徹底しましょう。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail [iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)



[iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)